

幼児教育公開講座

おもちゃインストラクター養成講座
～遊びの専門家になろう～

おもちゃコンサルタントマスター 荒木 舞・原 孝子

NPO法人グッド・トイ委員会認定

日時：平成25年5月18日(土) 13:00～16:00・19日(日) 10:00～16:00

◆講座要項掲載内容◆

〈1日目〉2013年5月18日(土) 13:00～16:00

【講座①】おもちゃインストラクターはじめての一步
子どもに接する現場での役割や意義を通して、おも
ちゃインストラクターの心構えを学びます。

【講座②】子どものおもちゃ学入門

子どもの成長・発達とおもちゃの関係から、現代の子
どもの生活までをおもちゃや遊びを通じて学びます。

【ワークショップ①】画用紙は手作りおもちゃの魔法の材料
1枚の画用紙から「江戸からくり玩具」3つを作る
不思議な不思議な魔法のワークショップです。

【ワークショップ②】牛乳パックはおもちゃの材料の王様
牛乳パックを征するものは手作りおもちゃを征します。
人気 NO. 1の玩具に挑戦!

〈2日目〉2013年5月19日(日) 10:00～16:00

【講座③】手作りおもちゃ・既製品玩具の遊び論
ハンドメイド・トイとメーカー・トイの融合を目指す、
子どもとの上手な付き合い方を学びます。

【講座④】はばたけ!おもちゃインストラクター
子ども同士、保育者と子ども、親子、祖父母と孫な
どの様々な人間関係を結ぶおもちゃの多世代交流論
を学びます。

【ワークショップ③】新聞紙をとことん楽しむ おもちゃ遊び
身近な素材を使って、様々な遊びを生み出す伝説の
ワークです。身につければあなたも地域で人気者!

【ワークショップ④】世界のおもちゃで遊ぶ・学ぶ
世界各国の優良おもちゃで遊ぶことを通して、おも
ちゃを通じたコミュニケーション術を学びます。

性を育むために～」というテーマで、ご講演をしていただ
きました。その中で、「おもちゃインストラクター」という資
格をご紹介いただいたところ、参加者の方から「ぜひ取り
たい!」「福井で実施してほしい!」というご要望があり、
ついに本学で「おもちゃインストラクター養成講座」を開
催することとなりました。当初は1講座開催を予定していま
したが、たくさんの申込希望があったため、急遽2講座の
開催となりました。約2日間のプログラムを経て、なんと116
名の「おもちゃインストラクター」が誕生しました。年齢も
10代から60代まで(図1参照)、職業も学生から保育・教
育関係者、地域でボランティアをされている方、会社員、
主婦などまで、幅広い層となりました。講座の中では、グ
ループになってメンバーや他の参加者と交流をしながら
の活動が多かったため、さまざまな参加者がいることで、
より刺激し合うことができたことも大きな楽しみとなった
ようでした。

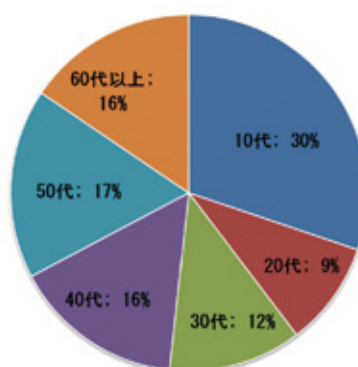


図1.参加者の年齢構成

講座は、講座要項掲載内容のように、理論的な部分を
学ぶ「講座」と実際におもちゃを作る「ワークショップ」が
プログラムとして組まれていました。まさに、おもちゃの魅
力や大切さを頭と身体で吸収することができる内容でし
た。

昨年度の幼児教育公開講座では、多田千尋先生(東京
おもちゃ美術館館長)に「おもちゃのチカラ～子どもの感



(写真1) 6～7名の参加者でグループになって活動しました。はじめは知らない人同士だったのが、2日目が終わる頃には仲良しに！



(写真2) 講師の先生がたくさんのおもちゃを持ってきてくださいました。これらのおもちゃに触れるだけでも笑顔になりました。



(写真3) かわいい人形型のけん玉に挑戦！みなさんに真剣になっていました。難しいだけに成功した時の喜びは大きい！



(写真4) てんとう虫のコマを使ったじゃんけんです。自分も何が出るかわからないのでドキドキでした！



(写真5) 2日目には、教室を飛び出して広い場所へ！新聞紙を使って、体も使って、遊びました。



(写真6) 息を吹き入れるとビニル袋がニョキニョキと膨らみます。そのたびに见ている人から歓声が！

本講座に関して、参加者の方にたくさんの感想をいただきました。以下に、その一部を抜粋してご紹介します。

- 子どもに玩具を与えるためには、専門的な知識を得ることや、よい玩具を見極めることも必要であると学びました。
- とても素晴らしい時間を過ごさせていただけました。レクリエーションやリラクスの時間として過ごすことができ

た雰囲気、講師の先生のご指導の素晴らしさを感じました。

- たくさんのおもちゃ作りを通して、子どもとのかかわり方のポイントを、的確に教えてもらって、大変ありがたかったです。これからのボランティア活動に生かしたいです。
- 1枚の新聞、1つの牛乳パック、1つの画用紙から、無限

に等しい遊びやおもちゃができる素晴らしさ、それにつながる子どもの無限の可能性をうまく未来につなげることは、先に生まれた私たちの役目だと思いました。

- おもちゃは使い方や遊び方ではなく、それを使って遊ぶ方が主役であり、主役の創造力、想像力が多様なものを作り出し、それに喜びや楽しみが加わって倍増すると感じ入りました。

- おもちゃの意味や、おもちゃを与える側として気を付けたいことなどを学び、再認識することができました。

- 身近にある材料などでたくさんの遊びがあり、またその材料に手を触れると自然と何らかのアイデア・遊びが幾通りも出てくるという驚きや感動、不思議さが伝わり、好奇心などが芽生えて、他の人とのコミュニケーションも大

変楽しい講座でした。自分にひとつ自信といいますか、子どもたちに接するプロセス身につけることができました。

- 最近、高価なおもちゃに目がいく時代であるが、家庭で保護者が子どもたちにすぐやってあげて一緒に遊べるものをもっと家庭に普及できるといい。

- 童心にかえりました。子どもたちとこんな楽しみ方が大事だと感じました。

「このような講座をたくさんしてほしい!」という感想も多くいただきました。来年度からも、「おもちゃインストラクター養成講座」やフォローアップ講座などさまざまな講座を企画していきたいと思います。

(文責:青井夕貴)



日刊県民福井(平成25年5月19日付)の記事